

令和2年7月27日

日本学生オリエンテーリング連盟

加盟校 各位

日本学生オリエンテーリング連盟幹事長

谷野 文史

2020年度 日本学生オリエンテーリング選手権大会  
インカレスプリント競技部門の開催断念について

表題大会の運営主体であるICSL2020実行委員会(以下、実行委員会)では、10月の大会開催に向けて準備を進めておりましたが、スプリント競技のトレインである「道の駅うつのみや ろまんちっく村」において、重大な渉外上の懸念事項が発生し、

- ・スプリント競技として適切なコースの設定が非常に困難であること
- ・敷地内の利用予定が流動的であり、今後も使用可能範囲が変化・縮小する可能性が高いこと

以上の理由から、大会の開催は不可能との結論に至ったとの報告を実行委員会より受けました。これを受けて当連盟理事及び幹事で議論を重ねた結果、現日程でのスプリント競技の開催見送りを承認する運びとなりました。

なおロング・ディスタンス競技部門に関しては、現時点で開催の方向で準備を進めており、10月17日の単日開催となります。また、開催可否の最終判断は当初予定通り8月15日に行われます。

なお、開催断念の判断に至った経緯については、実行委員会より、以下の説明を受けております。

(1)大会開催当日の他イベント施設による占有及び公演

トレイン内では、当初の予定では大会開催日までに撤去される予定であった他イベント施設が、新型コロナウイルス感染症の影響により年内まで残留することが判明した。さらに、同イベント主催者による公演が大会当日も予定されており、競技において重要度の高いエリアの使用が不可能になったほか、当日の一般利用客の増加が予想され、安全面の確保が困難になることが予想された。

(2)競技使用禁止エリアの拡大

(1)以外の箇所においても、渉外活動を進める過程で、一般利用客や維持管理車両の通行範囲等、管理者から利用を制限されるエリアの拡大が続いた。今後もこの状況が続いた場合、コースの最終決定に支障をきたす上、スプリント競技の本質を問う適切なコースセット自体が不可能になると判断された。

(3)現開催日程での代用トレインの選定が困難

以上を受けて、栃木県内の公園等の既存トレイン、ロング競技会場周辺等での開催についても検討したが、昨今の社会情勢により管理者との合意形成が困難であること、スプリント競技として適切なコースセットが難しいことから、トレインの変更による開催も不可能との結論に至った。

上記の実行委員会からの報告を受け、当連盟では7月18日に幹事会を開催し開催断念を承認いたしました。当連盟では代替大会等含めて今後、本大会の取り扱いについて検討してまいります。

予定日程でのスプリント競技の開催が叶わなかったこと、幹事長として選手としても誠に残念に思います。選手の皆様も、コンディションの調整やモチベーション維持において、非常に難しいシーズンとなっているかと思いますが、いつかまたみなさんでオリエンテーリングを楽しめる日が来ることを信じて、感染防止に努めながら競技に取り組めますよう、よろしくお願いいたします。